

HP Asset Manager

ソフトウェアバージョン : 5.10

資産トラッキングソリューション

ドキュメントリリース日 : 16 September 2008
ソフトウェアリリース日 : September 2008



法的制限事項

著作権

(c) Copyright 1994-2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

限定保証条項

機密コンピュータソフトウェア。

所有、使用、または複製するには、HPによる有効なライセンスが必要です。

FAR 12.211および12.212準拠。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアマニュアル、技術データは、ベンダの標準商用ライセンスに基づき、米国政府にライセンス供与されています。

保証

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品またはサービスに付帯する明示的保証条項でのみ規定されます。

本規定のいかなる部分も、他の保証を構成すると解釈されるものではありません。

HPは本書の技術上または編集上の誤謬、欠落についての責任を負わないものとします。

本書に含まれる内容は、予告なく変更される場合があります。

商標

- Adobe®, Adobe logo®, Acrobat® and Acrobat Logo® are trademarks of Adobe Systems Incorporated.
- Corel® and Corel logo® are trademarks or registered trademarks of Corel Corporation or Corel Corporation Limited.
- Java™ is a US trademark of Sun Microsystems, Inc.
- Microsoft®, Windows®, Windows NT®, Windows® XP, Windows Mobile® and Windows Vista® are U.S. registered trademarks of Microsoft Corporation.
- Oracle® is a registered trademark of Oracle Corporation and/or its affiliates.
- UNIX® is a registered trademark of The Open Group.

目次

はじめに	7
このガイドの使用目的	7
このガイドの対象ユーザ	7
このガイドの使用方法	8
1. 位置づけ	9
当社の事業について	9
HP Softwareソフトウェアスイートを用いた資産トラッキング	9
2. 資産トラッキングソリューション	11
ガイドツアー	13
Asset Managerの機能	14
インベントリツール	14
データマイグレーションツール	15
Asset Manager資産トラッキングソリューション	16
Get-Resourcesにおける資産トラッキング	26
A. 次のステップ	31
Asset Manager 互換性に関するマトリックス	31
HPが提供する情報	31

図の一覧表

2.1. HP Device and Dependency Mappingインベントリ	14
2.2. HP Device and Dependency Mappingインベントリ	15
2.3. HP Connect-It - データ転送	16

はじめに

このガイドの使用目的

このガイドでは、以下について説明します。

- 資産トラッキングソリューション
- Asset Managerの主な利点
- Asset Managerの対象ユーザ
- Asset Managerが提供するソリューション
- Asset Managerの機能

このガイドの対象ユーザ

このガイドは、資産トラッキングソリューションの概要について学びたいユーザを対象としています。このガイドは、簡潔で包括的にまとめられています。

- **簡潔**：Asset Managerをインストールし操作する必要はありません。
- **包括的**：Windowsのインタフェース機能を用いた**実務的**プレゼンテーション (▶ 資産トラッキングソリューション [献 11]) と**実践的**デモンストレーション (▶ ガイドツアー [献 13]) が収録されています。

また、Asset Managerの性能に関心のある以下の読者も対象としています。

- ジャーナリスト
- 業界エキスパート

- コンサルタント

このガイドの使用方法

「位置づけ」の章

この章では、以下について説明します。

- HPについて
- Asset Managerが提供可能なソリューション

「資産トラッキングソリューション」の章

この章では、HP Softwareアプリケーションのインタフェースと機能の面から、資産トラッキングソリューションについて説明します。

この「ガイドツアー」では、スクリーンショットを数多く用いて説明します。アプリケーションはインストールされている必要はありません。

1 位置づけ

当社の事業について

HPは、お客様の資産とサービス管理における投資効果を最大限に高めるために、これまで20年以上にわたり開発を進めてきました。この長期にわたる経験に基づき、ITIL (IT Infrastructure Library) ガイドラインを導入することで、業界ベストプラクティスを築き上げています。

HP Softwareソフトウェアスイートを用いた資産トラッキング

HP Softwareソフトウェアは、お客様がそれぞれの分野で直面する問題の解決策となるように設計されています。HPの主なソフトウェアは、資産およびサービス管理 (Asset Manager、HP Service Manager)、ヘルプデスク (HP Service Manager) またはWebクライアントインタフェース (Asset Manager Web、Get-It) に適応しています。HP Softwareのインベントリツール (HP Device and Dependency Mapping) およびデータマイグレーションツール (HP Connect-It) は、さまざまなアプリケーションに対応するカスタム情報の一貫性を実現しています。

2 資産トラッキングソリューション

HPでは、お客様の経験を共有できるように、お客様が蓄積された経験とHPのベストプラクティスに基づく専門性を融合させたValue Pathと名付けたサービス/サポートプログラムを作成しました。お客様は、Value Pathを利用することで、当社ソリューションから最高の付加価値を得ることができます。

資産トラッキングは、このValue Pathプログラムの最初のコンポーネントです。これは、他の3つのコンポーネント（HP Softwareのソリューションである経費コントロール、プロセスオートメーション、および資産オプティマイゼーション）にリンクされています。

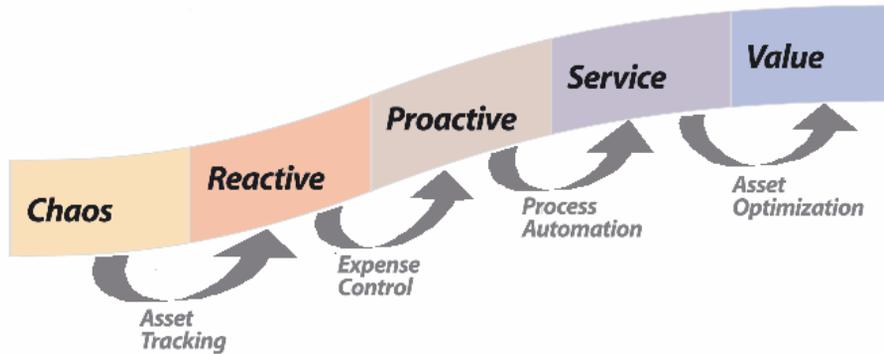
企業レベルでの資産トラッキングとは、「ゆりかごから墓場まで」というライフサイクル全体の資産管理を意味します。キーワードは、管理です。これは、誰が何をするか、どんな資産があるのか、資産はどこにあるのか、これに伴う所有コストとは何か、といったことを知ることを意味します。

効率的な管理システムであっても、それを評価するシステムがなければ成功したとは言えません。「資産管理」では、この評価システムが、IT組織のインフラを形成するビジネスおよび運用プロセスの中に織り込まれています。

Asset Managerなどの資産管理ツールと HP Device and Dependency Mappingなどのネットワーク検索ツールをユーザの事業および運用プロセスに統合すれば、ITポートフォリオを効率的に管理するのに必要なツールが揃います。

ペレグリンは、企業のインフラでの効率的な資産管理を目指し、企業が進化する過程を、chaos（カオス）、reactive（リアクティブ）、proactive（プロアクティブ）、service（サービス）、value（価値）、の5つのステージに分類しました。

これらのステージを着実に進んでいくためには、ITの広範なコントロールに向けて、スムーズな進化を可能にするプロセスの導入が必要です。



ソフトウェアの資産管理は、90%の企業にとって切迫した重要課題となっています。例えば、IT部署はまず、どのソフトウェアが誰によってどこで使用されるのか、その結果どのようなコストが発生するのか、取得したライセンスに正しく使用されているのかを知る必要に迫られます。この最初の混乱（カオス）状態から次のステージに移るためには、資産管理を支援するツールを導入する必要があります（ネットワーク検出、インベントリ、コストトラッキングツールなど）。HPは、このようなニーズにお応えする資産およびサービス管理ソリューションセットを提供しています。

資産およびサービストラッキングは、真の資産管理への基本ステップです。資産トラッキングソリューションは、環境を構成するIT機器、構成情報とトラッキング情報、ならびに特定のインストール済みソフトウェアなどを明確にします。この情報は、中央のレポジトリに保管されます。必要に応じて取得から廃棄までのライフサイクル全体を通して使用されます。このレポジトリ内の情報は、他の企業用アプリケーションでも分析したり使用することができます。

資産トラッキングソリューションに含まれるもの：

- 1 資産トラッキング評価レポート。このレポートでは、HPのお客様の環境内の資産トラッキング能力について見直すことができます。このレビューでは、次の項目が判断されます。
 - トラッキングの必要な資産およびその関連データ
 - お客様のビジネスおよびオペレーショナルターゲットに関連する実現の制約
 - お客様のインストール、移動、追加、変更（IMAC=Install、Move、Add、Change）プロセスの有効度。Asset Managerの改善および配置に関する推奨
 - 資産トラッキングの調整目標レベル
 - リアクティブフェーズに進むために必要な次のステップ

- 2 ネットワークコンポーネントに関連付けられたハードウェアとソフトウェアの固有ID。
 - 利点：ソフトウェアライセンスのコンプライアンスに必要なベース
 - 利点：ハードウェアとソフトウェアおよび障害復旧プランに対する、プラットフォームポリシーの標準化を確立するためのベース
 - 利点：ヘルプデスクとテクニカルサポート担当者用のコンピュータの導入状況を正確に把握
- 3 最新ツールによる、ハードウェアおよびソフトウェア自動インベントリの導入。
 - 利点：資産インベントリのドキュメント変更内容がHP Softwareの照合更新エンジンを活用して更新可能。資産情報の正確性と整合性（ユーザID、マシン名、メモリ変更などの資産属性）を確保
 - 利点：既存の資産環境の現状を性格で詳細に管理することで、主要資産のアップグレード、補充、マイグレーションのプランニングと準備をスムーズに実行
 - 利点：新規資産の識別を自動化することで、人手の掛かるインベントリや資産監査のニーズに対応
- 4 Asset Manager ビューで、資産およびその属性の管理レポートを即座に提供
 - 利点：ハードウェアならびにソフトウェア属性についての資産レポート機能を向上させ、資産や関連リレーションを広く管理し把握することによる確実な法令遵守
 - 利点：管理者が資産環境の分析能力を得ることで、サービスサポートの向上、調達コストの削減、管理リクエストへの対応が可能
- 5 Get-Resources ポートフォリオを使用して、購入依頼を作成可能。
 - 利点：リソース要求を簡素化し、従業員が処理しやすくすることで日常業務のニーズに対応。ニーズには、ハードウェアやソフトウェアのニーズ、情報のニーズ、ハードウェアまたはソフトウェア障害時の現場サポートのニーズなどが含まれる
 - 利点：依頼管理機能でワークフローを作成できるため、プロセスの整合性確保、自動化によるコスト削減が可能
- 6 将来の他のアプリケーションとの統合を可能にし、資産に関する重要情報を他のアプリケーションに渡すためのベースを確立。

ガイドツアー

この章では、Asset Manager で実際に操作する情報について説明します。

Asset Managerがインストールされている必要はありません。スクリーンキャプチャは、Windowsインタフェースに表示されたものです。

ここでは、ご自分が現在ITマネージャで、コンピュータの導入状況とそのメンテナンスコストに関する情報を必要としていると想定してください。

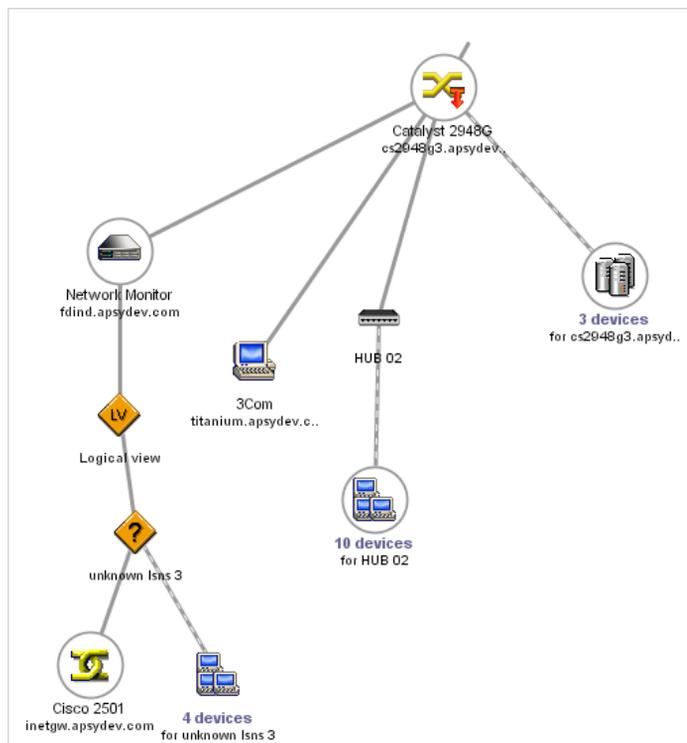
Asset Managerの機能

Asset Managerを使って、資産取得や関連コスト（税金、財産、メンテナンス契約、作業指示など）などのポートフォリオ全項目のライフサイクルに関連付けられた資産ポートフォリオとイベント全般の管理を行うことができます。

インベントリツール

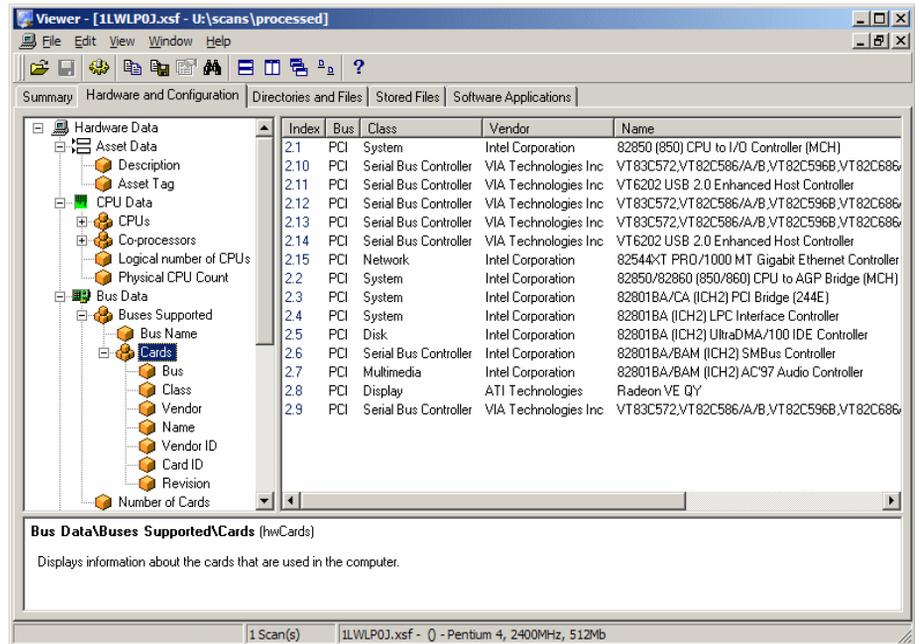
HP Device and Dependency Mappingを使用することで、ITポートフォリオの全体像が得られます。

図 2.1. HP Device and Dependency Mappingインベントリ



HP Device and Dependency Mappingで検出された各ポートフォリオ品目が検査され、技術情報が収集されます。

図 2.2. HP Device and Dependency Mappingインベントリ



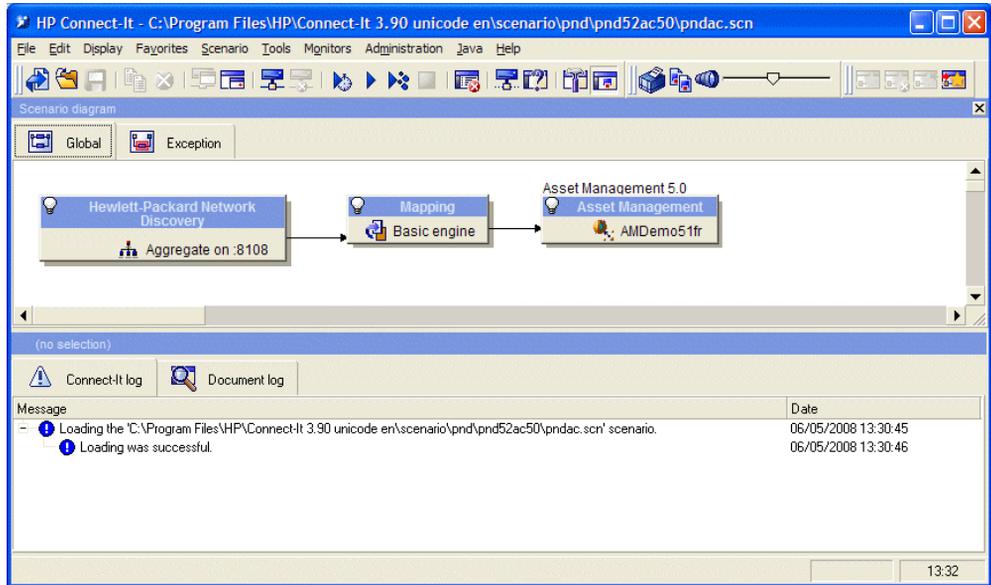
HP Softwareのインベントリツールによって収集された情報は、次にHP Connect-It経由でAsset Manager本番データベースに転送されます。

▶ 『*HP Device and Dependency Mapping*』ガイド

データマイグレーションツール

HP Connect-Itを使えば、2つのアプリケーション間のデータ転送が可能です。HP Connect-Itはソースアプリケーションデータベースに対してクエリを実行し、ターゲットデータベースで解釈可能なデータを抽出します。

図 2.3. HP Connect-It - データ転送



HP Connect-Itは、Asset Managerプログラムに同梱されています。次の機能を備えています。

- HP Device and Dependency MappingおよびAsset Managerなど、2つのアプリケーションが共有するデータのリアルタイムの複製
 - レガシーなデータベースからAsset Managerデータベースへのデータマイグレーション
- ▶ *HP Connect-It* 『ユーザガイド』
▶ *Asset Manager* 『照合更新』ガイド

Asset Manager資産トラッキングソリューション

資産トラッキングおよび資産管理には、次のモジュールが使用されます。

- バーコードインベントリ
- ポートフォリオ
- 照合更新
- 契約
- ソフトウェア資産管理

ポートフォリオトラッキングの調整

資産の物理的およびITインベントリを行う前に、資産管理の詳細の度合いを検討する必要があります。

現在のポートフォリオ構造は、Asset Managerデータモデルを考慮に入れる必要があります。管理者の役割は、ポートフォリオが管理されている現状を最もよく反映する属性とモデルを定義することです。

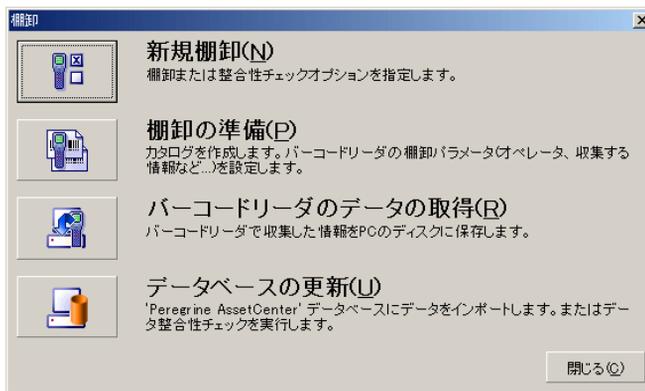
▶ 『ポートフォリオおよびソフトウェアライセンス』ガイドの「概要」の章

バーコードインベントリ

Asset Managerによる資産およびサービス管理は、会社の全資産の物理的インベントリから開始します。

バーコードによる棚卸モジュールは、次の目的に使用されます。

- Asset Managerデータベースを構築するために会社の資産を短時間で正確に収集。
- 各会社の資産を識別し、在庫の変更をトラッキング。これにより、資産の移動、取得、紛失、盗難などを容易に検出することが可能になります。

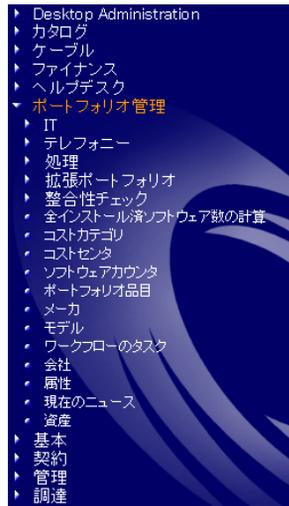


管理者は、あらかじめ設定されたリーダで棚卸する各資産を記録し、データをAsset Managerに転送します。インベントリに関連するデータは、ポートフォリオ画面に表示されます。

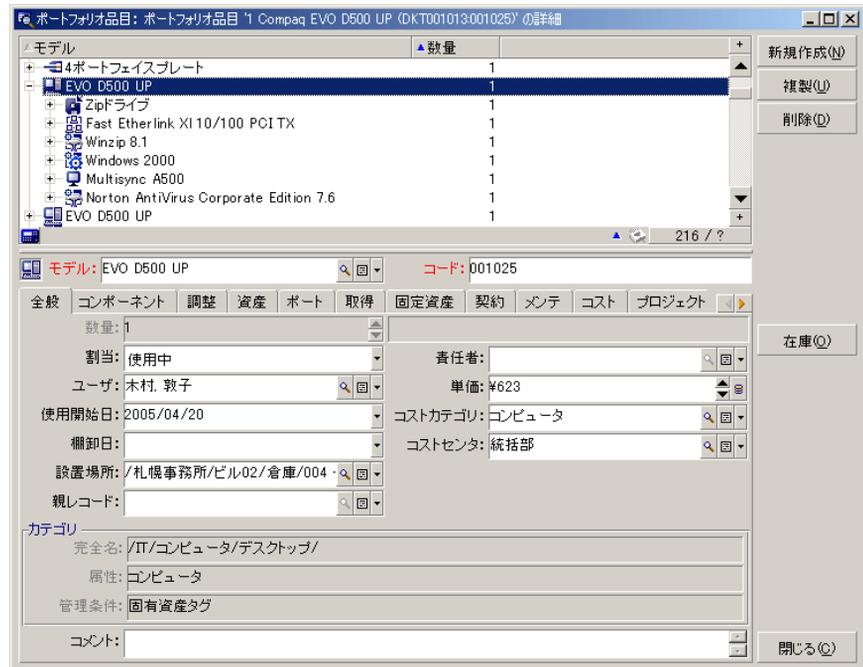
▶ 『バーコードによる棚卸』ガイド

ポートフォリオ

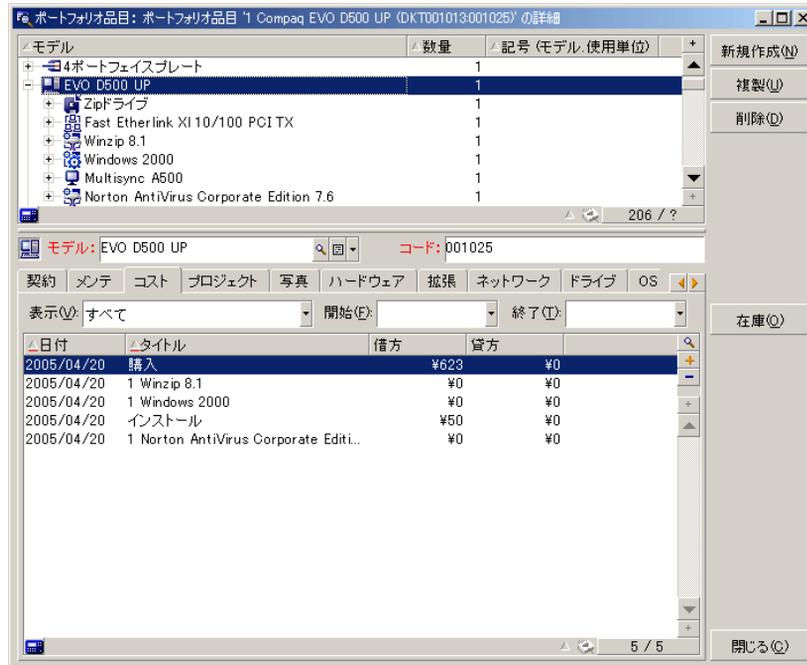
管理者は、[ポートフォリオ管理] ショートカットからポートフォリオにアクセスします。



ITポートフォリオ内の全資産は【ポートフォリオ品目】画面で確認することができます。



マウスを1回クリックするだけで、ITポートフォリオのあらゆる品目に関する情報にアクセスできます。



選択したポートフォリオ品目について、すべての情報と依存関係を確認できます。

- この品目の付属品目：周辺機器とソフトウェア
- この品目の「テクニカルな」任意管理項目：メモリ、CPU、ドライブなど
- 資産の識別：資産タグ、バーコードなど
- 取得コスト
- 固定費
- 資産にリンクされた契約：リース契約、メンテナンス、保証延長など

階層

定義した資産管理システムの調整レベルに応じて、品目をより詳しく管理することも、大まかに管理することもできます。この調整レベルは、ポートフォリオを構成する品目の階層を定義します。



この調整は「部署または従業員」などで確認できます。

性別	部署名/姓	名前	役職	電話番号	ファックス
+	Admin			011-5536-6000	011-5572-9099
+	Demo			011-5536-6000	011-5572-9099
+	Taltek			011-5536-6000	045-345-9801
+	ファイナンス			045-345-9800	045-345-9801
+	運用			011-5572-9000	011-5572-9099
+	営業課			045-345-9809	045-345-9801
+	マーケティング部長			045-345-9812	045-345-9801
+	横浜出張所			045-345-9822	045-345-9801
+	大阪事務所			06-5422-5501	06-5537-6000
+	管理			011-5572-9000	011-5572-9099
+	金田	雅美	交換室主任	011-5572-9000	011-5572-9099
+	本多	京介	施設保全課長	011-5572-9000	011-5572-9099

▶ ポートフォリオとソフトウェアライセンス

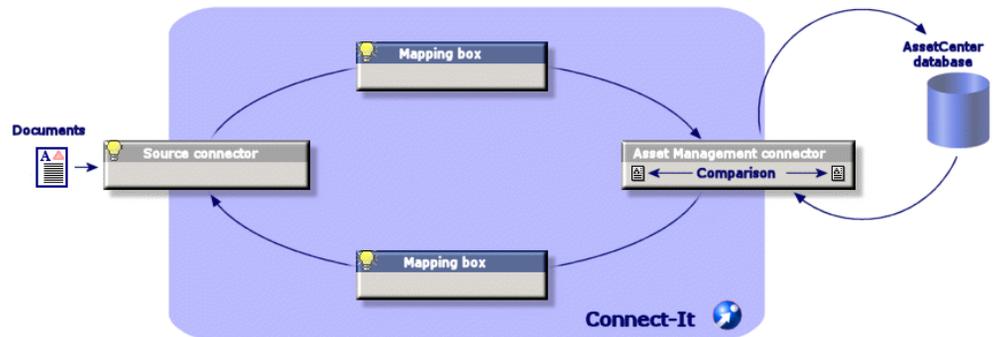
照合更新

データの照合更新はHP Connect-Itを使用して行います。

「照合更新」とは、ターゲットアプリケーションの既存データより新しいとみなされたソースアプリケーションからの入力データをデータベースに統合するプロセスを意味します。

このプロセスのベースとなるのは、「入力データがターゲットアプリケーションに既に存在しているかどうか」です。

- 答えが「いいえ」の場合、データはそのまま挿入される
- 答えが「はい」の場合、既存データは入力データの新しい情報によって更新される

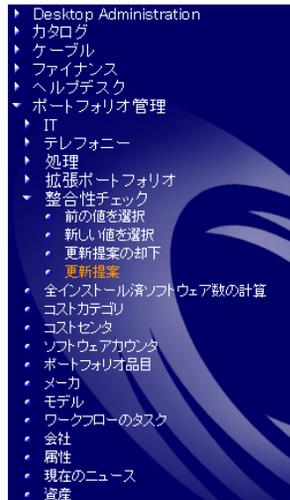


運用サイクルに正しく組み込まれると、照合更新機能はユーザには見えないところで動作し、ユーザはAsset Managerで常に最新データを処理することが可能になります。

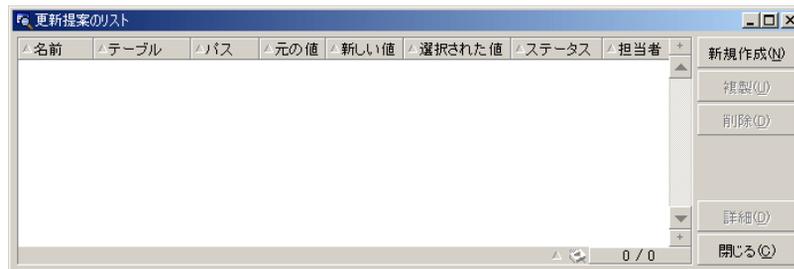
照合更新により、インスタンスを常に最新の状態に保つことができます。

- 設置済みのマシンリスト（HP Device and Dependency Mappingインテグレーション）
- 従業員の場所（SAPインテグレーション）
- インシデントリスト（HP Service Managerインテグレーション）

管理者は、[ポートフォリオ管理/照合更新/照合更新提案]ショートカットから更新対象の品目にアクセスします。



照合更新対象の項目は [照合更新提案] 画面に表示されます。

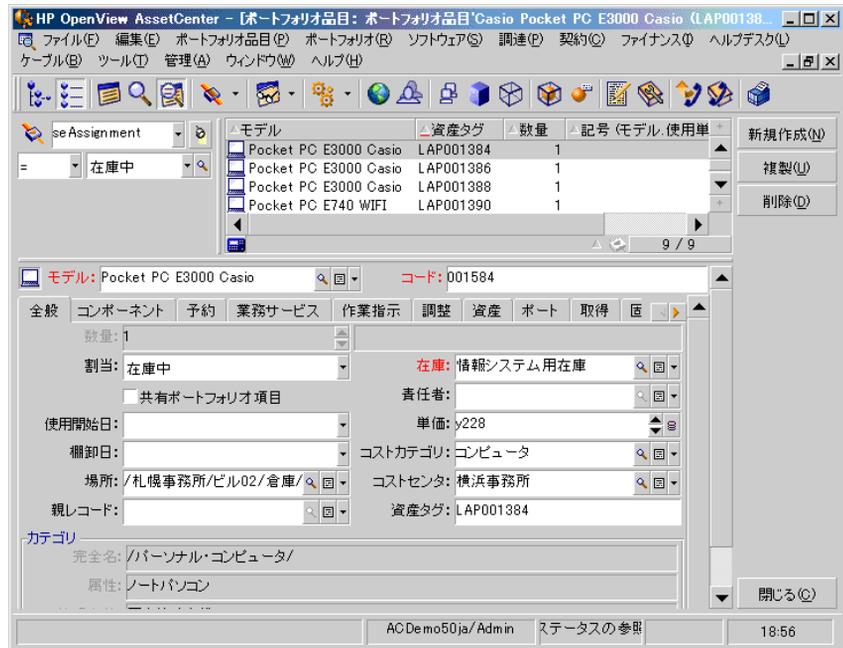


管理者は、リスト内の各品目に対する照合更新提案を承認または却下するかどうかを選択します。

▶ 『照合更新』 ガイド

ビュー

各Asset Managerユーザは、必要な項目だけを表示するようにアプリケーションを設定することができます。例えば、IT部署の従業員なら在庫内のポートフォリオ品目だけを表示するビューを作成できます。



▶ 『カスタマイズ』 ガイドの「ビューの使用方法」の章

契約

会社資産は、契約とリンクされることがあります。

契約モジュールを使えば、リース、ライセンス、メンテナンス、保証または保険契約など、あらゆる種類の契約を管理することができます。

次のような種類の契約が管理対象です。

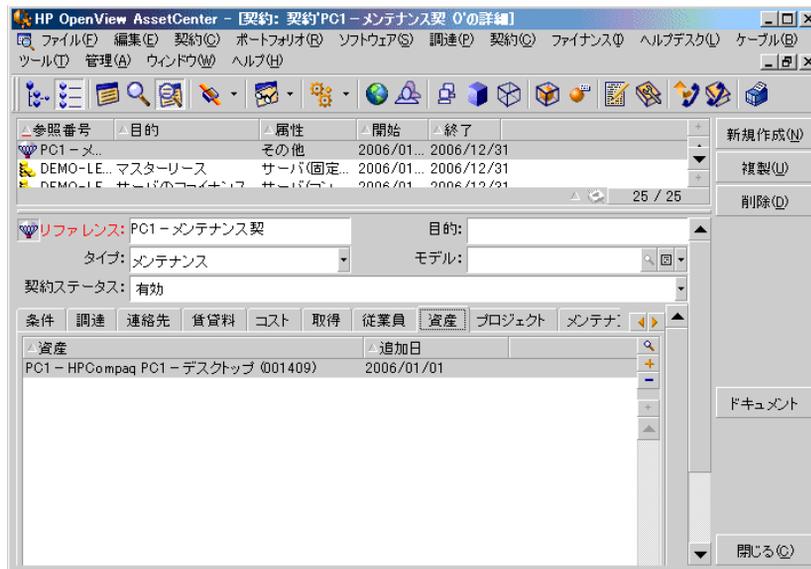
- マスターリース
- リース明細
- 保険契約
- ライセンス契約

- 一括発注タイプの契約
- その他

管理者は、**[契約]** ショートカットから契約モジュールにアクセスします。



契約上のすべての資産は、契約の詳細の**資産**タブで表示されます。

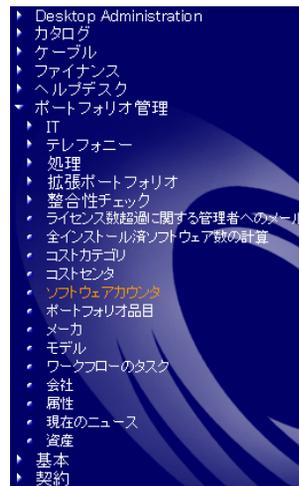


▶ 『契約』ガイド

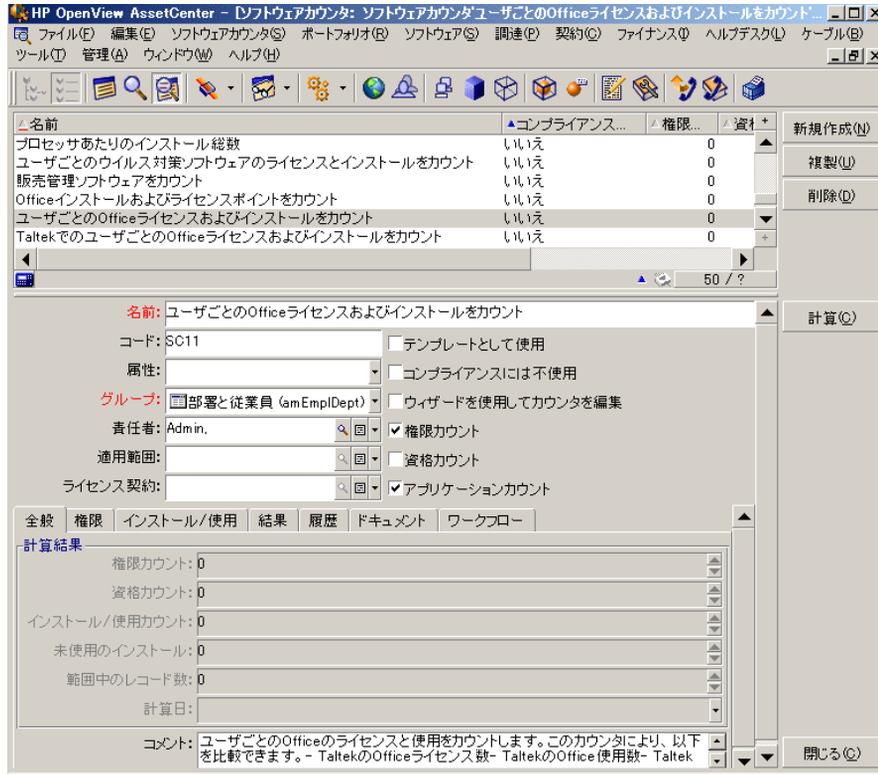
ソフトウェア資産管理

Asset Managerに付属のウィザードを使用することで、管理者はある時刻に、会社のコンピュータにどんなソフトウェアがどのようにインストールされているかを把握し、このライセンス情報と照合することができます。

管理者は、[ポートフォリオ管理/ソフトウェアカウンタ] ショートカットからカウンタにアクセスします。



Asset Managerは、ソフトウェアカウンタリストと計算結果を表示します。



- ▶ 『ポートフォリオおよびソフトウェアライセンス』ガイドの「ソフトウェア」の章

Get-Resourcesにおける資産トラッキング

Get-Resourcesは資産とサービスに関する依頼プロセスを簡略化します。そのため、従業員が自分の依頼をトラッキングすることができます。さらに、Get-Resourcesは企業全体の予算と申請承認面でのプロセスを自動化することができます。

Webインターフェース

Webアクセスを求めるユーザに対して、管理者は次の項目を設定します。

- 識別子とパスワード

- アクセスを許可する画面
- 実行を許可する操作

これらの項目が識別されると、ユーザはシンプルで使いやすく、カスタマイズ可能なインタフェースにアクセスできます。

各購入依頼は、Asset Manager調達モジュールに転送され、承認ワークフローへと組み込まれます。

▶ 『Get-Resources Tailoring』ガイド

依頼の管理

従業員は誰でも、購入依頼を提出することができます。

The screenshot shows the 'Peregrine Portal' interface. The top navigation bar includes 'Home', 'Administration', 'Request', and 'Procurement'. The user is identified as 'User: Hartko'. The main content area is titled 'Select an item to add to the cart' and features a table of computer products. The table has columns for 'Select', 'Product/Description', 'Price', and 'Action'. The products listed are:

Select	Product/Description	Price	Action
<input type="checkbox"/>	Executive Desktop PC Intel Pentium III 500Mhz 256MB RAM 9.1GB HD	\$2,719.00	Add Configure
<input type="checkbox"/>	Assistant Desktop PC Intel Pentium III 450Mhz 64MB RAM 4.2GB HD	\$1,258.00	Add Configure
<input type="checkbox"/>	Sales Laptop Laptop Intel Pentium II 300Mhz 32MB RAM 4.2GB HD	\$2,758.00	Add Configure
<input type="checkbox"/>	Developer Desktop PC Intel Pentium III 550Mhz 512MB RAM 13.5GB HD	\$3,819.00	Add Configure

Additional interface elements include a search bar, 'Advanced Search' link, 'To Catalog Start' and 'To Request Summary' links, and an 'Add Selected' button at the bottom.

提出された依頼は承認プロセスへと送られ、依頼者はいつでもこれを閲覧することができます。

Quantity	Product/Description	Price
1	Compaq Desktop computer w/ PIII500;124MB;13GIG	\$1,100.00

一般に、承認プロセスはAsset Managerで作成したワークフローで定義します。

▶ 『Get-Resources Tailoring』ガイド

ワークフロー

Asset Managerでは承認プロセスを自動化し、業務プロセスを標準化するためのワークフローを作成できます。

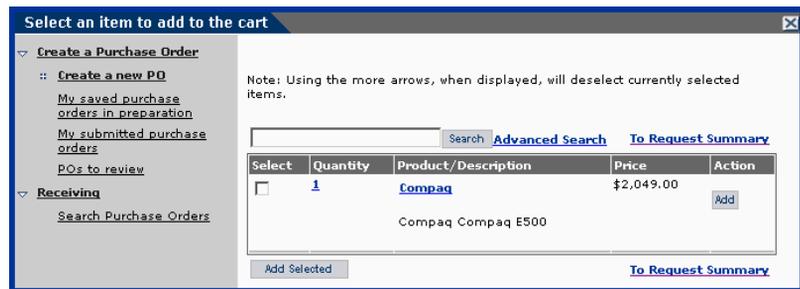


ワークフローの定義は、管理者が行います。Get-Resources インタフェースによって、次のことができます。

- 依頼の送信
 - ステータスの定義（承認待ち、承認済、却下）
 - 依頼の承認
 - 発注の自動作成
- ▶ Asset Manager 『AssetCenterの高度な使い方』ガイドの「ワークフロー」の章

発注管理

購買許可を得たユーザは、依頼品目の発注書を生成することができます。



発注書が作成されると、発注品目を受け取るまで承認ワークフローに組み込まれ、次にポートフォリオへと組み込まれます。

- ▶ 『Get-Resources Tailoring』ガイド

A 次のステップ

Asset Managerの詳細については、以下の情報を参照してください。

Asset Manager 互換性に関するマトリックス

互換性のある環境については、HPのサポートサイト www.hp.com/go/hpsoftwaresupport をご覧ください。

識別IDとパスワードについては、HPまでお問い合わせください。

サポートサイトにログオンした後、**[Product Information/Asset Management/Asset Manager/Compatibility Matrices]** の順にクリックして、互換性一覧をご覧になれます。

HPが提供する情報

HPのWebサイトには、役立つ豊富な情報が掲載されています。

特に、製品ドキュメント、ホワイトペーパー、デモ用ソフトウェア、カスタマレポートなどがご覧になれます。

Webサイトのアドレスは<http://h20229.www2.hp.com/index.html>です。

